

福祉サービス第三者評価結果報告書（平成 29 年度）

平成 30 年 3 月 30 日

社会福祉法人 京都市社会福祉協議会  
京都市唐橋児童館 館長 殿

〒150-0002

所在地 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 日本薬学会ビル 7F  
評価機関名 一般財団法人 児童健全育成推進財団  
(東京都福祉サービス評価第三者評価機関/機構 12-215)  
電話番号 03-3486-5141  
代表者氏名 理事長 鈴木 一光



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名	評価者氏名		所属	
	①	阿南健太郎	児童健全育成推進財団 第三者評価室主たる評価者 東京都評価者番号 H1201051	
	②	坂元 悦子	児童健全育成推進財団 第三者評価室 所属評価者	
福祉サービス種別	児童館			
評価対象施設名称	京都市唐橋児童館			
施設連絡先	所在地	〒601-8466 京都府京都市南区唐橋西寺町 65		
	電話番号	075-644-5066		
施設代表者氏名	館長 鳥山 順子			
契約日	平成 29 年 3 月 31 日			
自己評価票回答期間	平成 29 年 9 月 7 日～平成 29 年 10 月 13 日		館長・事務局回答項目	
職員調査票回答期間	平成 29 年 9 月 22 日～平成 29 年 10 月 11 日		職員回答項目	
訪問調査日	平成 29 年 11 月 21 日			

## 京都市唐橋児童館評価結果

## I. リーダーシップと意思決定

1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		
1	事業所が目指していること（理念、基本方針）を明確化・周知している	
	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を明示している	○
	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○
	3. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○
2	経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	
	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	○
	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	○
【講評】		
法人として基本理念と児童館の重点目標を掲げ、その実現に向けた取り組みを行っています		
① 法人の基本理念は「京都市における社協行動指針2015」に明記しています。指針には児童館事業の「重点取組」を記載し、法人のホームページ、リーフレット、チラシ、児童館の利用案内への記載などの方法で公表しています。利用者にも法人が目指す「基本目標」「重点目標」について理解が深まるようにしています。児童館ではその「重点取組」を基本として事業計画を作成しています。		
② 業務権限や責任所在に関する規程を定めています。また、全職員対象の研修を開催し、法人幹部が講師となり児童館の現状課題や方向性、法人の理念を伝え理解を深める機会としています。		
③ 同じ行政区の法人所管児童館の館長によるグループ制により、運営主体の意向や必要な事務連絡、各館の情報交換を円滑に図っています。		

## Ⅱ. 経営における社会的責任

<b>1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる</b>		
1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		
1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳）などを明示している		○
2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳）などの理解が深まるように取り組んでいる		○
3. 事業所のコンプライアンスや社会的責任を明確にして、職員保護や法令遵守に対する取り組みをおこなっている		○
2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている		
1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる		○
2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法（事業者便り・会報など）で地域社会に事業所に関する情報を開示している		○
<b>2 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている</b>		
1 事業所の機能や福祉の専門性を生かした取り組みがある		
1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している（施設・備品等の開放、個別相談など）		○
2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性を生かした企画・啓発活動（研修会の開催、講師派遣など）を行っている		○
2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		
1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している		○
2. ボランティアの受け入れ体制を整備している（担当者の配置、手引き書の作成など）		○
3. 利用者や地域住民を対象としてボランティア育成をおこなっている		○
3 地域の関係機関との連携を図っている		
1. 地域の関係機関のネットワーク（連絡会など）に参画している		○
2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている		○
3. 小学校等利用者が関係する機関との連携を図っている		○
<b>【講評】</b> 利用者や地域の関係者に情報開示を行い、透明性の高い児童館の運営を心がけています  ① 職員心得やサービス姿勢を「社協信条」に明示しています。「倫理」について研修を行うほか、「職場倫理チェックシート」を作成し、各館が活用することで倫理意識の維持・向上に努めています。そして、「事業報告書」「情報公開規程」「第三者評価受審結果」等必要な情報開示を行っています。また、法人所管児童館共通で実施する「利用者共通アンケート」の結果を「児童館だより」等に掲載し公表しています。 ② 会計監査人の設置、管理職対象のハラスメント研修、職員全体に「障害者差別解消法」研修を行う等、職員保護や法令遵守の推進を図っています。 ③ 京都市地域子育て支援ステーション事業の「基幹ステーション」として、子育てに関わる関係機関・団体のネットワークの基点となっています。各児童館では、「ステーションネットワーク」の広報物の発行や独自の取り組みが行われています。		

### Ⅲ. 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

1 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		
1 利用者一人ひとりの意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応している（苦情解決制度を含む）		
1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		○
2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる		○
2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる		
1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる		○
2. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる		○
3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している		
1. 地域の福祉ニーズの収集（地域での聞き取り、地域懇談会など）に取り組んでいる		○
2. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）の収集に取り組んでいる		○
<b>【講評】</b> 利用者の意見・要望を受けとめ、児童館活動としての利用者サービスの向上に努めています  ① 「苦情解決のための実務マニュアル」「苦情解決規則」を整備しています。法人に第三者委員会を置くとともに、児童館には苦情申出窓口を設置し、利用者の意向を酌むことに努めています。 ② 「利用者共通アンケート」を実施して、利用者の意向を児童館の事業計画や運営改善に活かしています。また、アンケート結果を児童館に掲示・掲載することで利用者や地域住民へ公表し、透明性の確保とサービス内容の向上を図っています。 ③ 学童クラブでは、保護者懇談会や個人面談を実施して、個別的な要望や意向を把握しています。児童館と家庭の共通認識が図られるように配慮しています。		

#### IV. 計画の策定と着実な実行

<b>1 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる</b>		
1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/>	
2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/>	
3. 短期の活動についても、計画的（担当者・スケジュールの設定など）に取り組んでいる	<input type="radio"/>	
2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/>	
2. 計画は、サービスの現状（利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など）を踏まえて策定している	<input type="radio"/>	
3 着実な計画の実行に取り組んでいる		
1. 計画推進の方法（体制、職員の役割や活動内容など）を明示している	<input type="radio"/>	
2. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/>	
<b>2 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる</b>		
1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
1. 事故、感染症、侵入、火災、自然災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/>	
2. 事故、感染症、侵入、火災、自然災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/>	
3. 利用者の負傷等に対応する傷害保険に加入している	<input type="radio"/>	
4. 賠償すべき事故に対応する損害賠償保険に加入している	<input type="radio"/>	
<b>【講評】</b> 法人の理念に基づいて事業計画を策定し、計画的な運営を行っています  ① 「社協行動指針 2015」を基準に、児童館活動の基本的な方向性として事業計画を策定しています。地域福祉やコミュニティづくりを意識した児童館運営を行っています。 ② 職員行動評価の基準を作り、業績目標の設定と達成度について個別の評価を行っています。 ③ 法人独自に「事故や災害における予防と対応マニュアル」「衛生管理のためのマニュアル」等、各種危機管理のマニュアルを整備し、避難・消火訓練や「ヒヤリハット」の報告等、具体的な利用者の安全対策を講じています。併せて、市からの指示により各館の立地条件にあった「防災マニュアル」を作成しています。 ④ 活動中の利用者の負傷や、児童館が賠償すべき事案が起きた際等の不測の事態への備えとして、各児童館とも傷害保険・損害賠償保険に加入しています。		

## V. 職員と組織の能力向上

<b>1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる</b>		
1 事業所にとって必要な人材構成にしている		
1. 事業所の人事制度に関する方針（人材像、職員育成・評価の考え方）を明示している	<input type="radio"/>	
2. 採用に対する明確な基準を設けている	<input type="radio"/>	
2 職員の質の向上に取り組んでいる		
1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/>	
2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している	<input type="radio"/>	
3. 職員一人ひとりの個人別の育成（研修）計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/>	
<b>2 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる</b>		
1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		
1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/>	
2. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/>	
2 職員のやる気向上に取り組んでいる		
1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬（賃金、昇進・昇格、賞賛など）が連動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/>	
2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど）を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/>	
<b>【講評】</b> 人事考課制度や職員ヒアリングを導入して、人材育成と組織力の向上を図っています		
① 採用に関する明確な基準を持っており、透明性確保のために公募による採用を行い、適材適所の人員配置に努めています。 ② 法人独自の人事考課制度により、望ましい職員像や行動基準を明らかにしています。 ③ すべての職員に「報・連・相」を徹底するよう心がけています。 ④ 職員一人ひとりの研修受講状況を管理し資質向上を図っています。研修終了後はレポートの提出が義務付けられており、伝達研修により研修内容の全体化と定着化を進めています。		



## VI. サービス提供のプロセス

<b>1 サービス情報の提供</b>		
1 利用者や地域住民に対してサービスの情報を提供している		
1. 利用者や地域住民が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		○
2. 利用者や地域住民の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている		○
3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		○
4. 放課後児童クラブの利用が困難な場合には、理由を説明したうえで、他の相談先紹介など支援の必要に応じた対応をしている		非該当
5. 事業所の利用促進につながるように創意ある広報活動がおこなわれている		○
<b>【講評】</b> 地域の方全てに認識されるようサービス情報の提供を工夫して行っています。		
① 毎月おたよりの発行を行い、利用者各年代層に対してわかりやすい情報の提供となるよう工夫されています。ホームページの更新も行っています。 ② 毎月のおたよりは、小学校の全児童や近隣の保育所、幼稚園、子育て支援センターなど関係機関へ配布されています。また、地域住民に対しても自治会などへの回覧などを通してPRを行うことで、児童館への理解を得ています。周辺の乳幼児のいるお宅には、個別のお宅へのポスティングも行っています。 ③ 安全上、施錠されている学校敷地内にあるため、地域住民が「児童館＝放課後児童クラブ」という印象を持ちがちなことがあり、学校外壁に学校長の許可のもと、児童館の最新情報を掲示し、情報発信をしています。 ④ 利用者が参加しやすいよう、おたよりに参加申込書をつけています。内容がわかりやすく示されており、気軽に参加できるようにしています。		
※京都市役所の方針で放課後児童クラブは希望者全てを受け入れるため、項目4は非該当とします。		
<b>2 サービスの実施</b>		
1 遊びの環境整備を行っている		
1. 遊ぶ際を守るべき事項（きまり）が、利用者に理解できるように決められている		○
2. 乳幼児から中高生までの児童すべてが日常的に気軽に利用できる環境がある		○
3. 利用者が自発的かつ創造的に活動できるように環境を整備している		○
4. 幅広い年齢の児童が交流できる場が日常的に設定されている		○
<b>【講評】</b> 多くの来館者が気持ちよく過ごせるよう館内に細やかな工夫、配慮がされています。		
① 禁止事項が貼られている印象はなく、利用者自身が考えて利用できるよう工夫がされています。 ② おもちゃや本などの整備も丁寧に行われており、数や種類も適切で、それぞれの年齢に応じて片付けやすい工夫がされています。 ③ 2階の階段上部には落下防止の柵も設置されており、子どもの動線を考え、子どもの視線で安全対策もなされています。 ④ 児童館の玄関までのアプローチは小学校の校庭の脇を通ります。防球ネットで守られているので、安心して通ることができます。ネットなので視認性もあり、圧迫感はありません。 ⑤ 職員室から窓が設けてあり、子ども自身が準備・片づけがしやすく、自由来館児童用のお茶も準備されています。		
2 乳幼児と保護者への対応を行っている		
1. 乳幼児と保護者が日常的に利用している		○
2. 乳幼児活動が年間通じて実施されており、その内容が参加者のニーズに基づいたものになっている		○
3. 保護者同士が交流する機会が設けられており、保護者が企画や運営に参加している		○

	<p><b>【講評】</b> 保護者の交流を考え、保護者自身が活躍できる場づくりなど居心地のいい場所づくりを意識しています。</p> <p>① 乳児クラブ、幼児クラブを実施し、年齢に応じた多様な活動の提供を行っています。</p> <p>② 検診等で児童館のおたよりの配布も行い、地域の乳幼児と保護者に早い時期からアプローチしています。</p> <p>③ 周辺の乳幼児家庭の中で、集団が苦手な保護者がゆっくり参加できるような場所づくりの必要性も実感されており、ゆるやかな内容のものも取り入れられています。</p> <p>④ 保護者による自主的なグループ活動の支援も積極的に行われています。</p>	
	3 小学生への対応を行っている（核となる児童館活動）	
	1. 職員が個々の児童の状態や心理を考慮して適切に援助している	○
	2. 職員が個別・集団援助技術を念頭において、個人や集団の成長に向けて働きかけている	○
	3. 障害の有無や国籍の違いを超えて、児童と一緒に遊びお互いに理解を深め合える取り組みが行われている	○
	4. 行事やクラブ活動が、日常活動とのバランスや児童の自主性・社会性を育てることを意識して企画されている	○
	<p><b>【講評】</b> 小学校との連携ができており、子どもの遊びの環境も充実しています。</p> <p>① 小学校の敷地内に設置されており、自由来館の児童と児童クラブ登録の児童と一緒に校庭で遊ぶことができ、安心して子ども同士で遊びを通して育ちあうことができるような環境を作っています。</p> <p>② 小学校との連絡も丁寧に行い、個々の状況も把握できています。</p> <p>③ 小学生用のおもちゃや本の片づけ場所がきれいに分けておかれ、子ども自身で片付けやすいようになっています。</p> <p>④ 行事・クラブ活動が日常生活の中に自然に組み込まれており、個別・集団が無理なく設定されています。</p>	
	4 中学生・高校生世代への対応を行っている	
	1. 日常的に中学生・高校生世代の利用がある	○
	2. 中学生・高校生世代が自主性や社会性を養えるような活動を継続して実施している	○
	<p><b>【講評】</b> 中学生・高校生世代の利用促進に取り組んでいます。</p> <p>① 午後5時から6時30分までの中高生の時間や土曜日などに、小学生時に利用していた児童や、放課後児童クラブ出身の中学生の利用があります。</p> <p>② 中高生が活躍できる場を作り、まつりやイベントなどでは、手伝いに自ら参加する中高生もできました。</p> <p>③ 小学校敷地内にある児童館のため、小学生のイメージが強いが、今後卒業生を中心に、利用につながるよう広報するなど、課題意識はあります。</p>	
	5 子どもの権利を尊重した支援を行っている	
	1. 子どもの意見を述べる場や意見を生かす事業が提供されている	○
	2. 子どもからの相談に日常的に対応できる雰囲気がある	○



	<p><b>【講評】</b>          子どもの意見を積極的に取り入れた活動を行っています。</p> <p>① 職員は児童館に来館した児童の自由な遊びを大切にしています。          ② 高学年児童が中心となり、まつりやイベントには参画しています。          ③ 自由来館の児童も放課後児童クラブの児童も一緒に、夏休みの事業などでは活躍している様子があります。          ④ 子ども企画では、自己決定・共同決定の両方を意識された活動が行われています。</p>							
6	<p>配慮を要する児童・家庭への支援を行っている</p> <table border="1"> <tr> <td>1. 保護者からの相談に日常的に対応できる体制がある</td><td>○</td></tr> <tr> <td>2. 障害のある児童の利用に対応する支援策が整っている</td><td>○</td></tr> <tr> <td>3. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている</td><td>○</td></tr> </table> <p><b>【講評】</b>          保護者からの相談では、まず相談内容をきく姿勢を大切にしています。</p> <p>① 年間を通して関わるができるよう同じ担当者が幼児のクラブに関わり、継続して経過を見ていくようにしています。          ② 保護者の方に安心していただけるよう職員がにこやかに接し、ゆったりした環境でお話を伺うよう意識して関わっています。          ③ 小学生の虐待ケースがあれば、学校を経由し即座に対応できる体制ができています。</p>		1. 保護者からの相談に日常的に対応できる体制がある	○	2. 障害のある児童の利用に対応する支援策が整っている	○	3. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	○
1. 保護者からの相談に日常的に対応できる体制がある	○							
2. 障害のある児童の利用に対応する支援策が整っている	○							
3. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	○							
7	<p>地域の児童の育成環境づくりを行っている</p> <table border="1"> <tr> <td>1. 住民による子育て支援活動や健全育成活動を促進している</td><td>○</td></tr> <tr> <td>2. 地域社会で児童が安全に過ごせるような取り組みをしている</td><td>○</td></tr> <tr> <td>3. 児童館運営協議会等を設け、地域住民と共に育成環境づくりを検討する機会がある</td><td>○</td></tr> </table> <p><b>【講評】</b>          子育て支援活動の拠点として、健全育成活動を地域と共に推進しています。</p> <p>① 地域住民による設置運動からできた児童館でもあり、地域住民も協力的であり、地域全体で児童館活動を支えているようです。児童館にも気軽に足をはこんでくださる方もあります。地域内の情報もそこから得ることも多いようです。          ② 児童館運営協力会を、準備会を経て平成 23 年 2 月に立ち上げました。協力会を定期的に開催し、ご意見を伺っています。地域の中で、子どものことなら児童館という認識を持っていただけるよう常に高い意識を持っています。</p>		1. 住民による子育て支援活動や健全育成活動を促進している	○	2. 地域社会で児童が安全に過ごせるような取り組みをしている	○	3. 児童館運営協議会等を設け、地域住民と共に育成環境づくりを検討する機会がある	○
1. 住民による子育て支援活動や健全育成活動を促進している	○							
2. 地域社会で児童が安全に過ごせるような取り組みをしている	○							
3. 児童館運営協議会等を設け、地域住民と共に育成環境づくりを検討する機会がある	○							
<p><b>3 サービスの開始・終了時の対応【放課後児童クラブ併設の場合のみ該当】</b></p>								
1	<p>サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている</p> <table border="1"> <tr> <td>1. 放課後児童クラブ利用の開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している</td><td>○</td></tr> <tr> <td>2. 放課後児童クラブの内容について、保護者の同意を得るようにしている</td><td>○</td></tr> <tr> <td>3. 放課後児童クラブに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している</td><td>○</td></tr> </table>		1. 放課後児童クラブ利用の開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○	2. 放課後児童クラブの内容について、保護者の同意を得るようにしている	○	3. 放課後児童クラブに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○
1. 放課後児童クラブ利用の開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○							
2. 放課後児童クラブの内容について、保護者の同意を得るようにしている	○							
3. 放課後児童クラブに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○							
2	<p>サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている</p> <table border="1"> <tr> <td>1. 放課後児童クラブ利用開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している</td><td>○</td></tr> <tr> <td>2. 放課後児童クラブ利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている</td><td>○</td></tr> <tr> <td>3. 放課後児童クラブ利用の終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている</td><td>○</td></tr> </table>		1. 放課後児童クラブ利用開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○	2. 放課後児童クラブ利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	○	3. 放課後児童クラブ利用の終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○
1. 放課後児童クラブ利用開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○							
2. 放課後児童クラブ利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	○							
3. 放課後児童クラブ利用の終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○							

<p><b>【講評】</b>          保護者が不安に感じる児童クラブ開始時、終了時は特に丁寧に説明し、不安軽減に努めています。</p> <p>① 入会の際には事前説明会を実施し、利用に関する活動方針や内容、年間計画等について説明しています。また個別の相談にも丁寧に対応しています。</p> <p>② 地域内の保育所とも連携し、新 1 年生児童について、小学校・児童館で情報共有もして受け入れ態勢を万全にするよう努めています。受け入れ後 5 月にも保育所と連絡会を行い、その後に活かします。</p> <p>③ 登録児童の個別の状況を把握するため児童台帳を作成し、保護者からの心配事や要望などの記入をしてもらうようにしています。職員全員が知っておくべきことには、マーカー等でチェックし共有しています。</p> <p>④ 学校・家庭とのやり取りは慎重にし、特に帰宅時の時間方法等については二重にチェックが入るようにし、子ども自身も自覚できるようホワイトボードの活用も行い、夕刻の帰宅の安全には丁寧に対応している。</p> <p>⑤ 終了時には自由来館につながるよう意識し、その後の関わりも意識しています。</p>														
<p><b>4 特に配慮を要する児童・家庭の個別状況に応じた計画策定・記録</b></p>														
<p>1 定められた手順に従って情報収集、分析および課題設定 を行い、子ども・家庭の課題を理解した個別の支援を計画している</p> <table border="1"> <tr> <td>1. 配慮を要する子どもや保護者の心身状況や生活状況、ニーズ等を、明示する手続きを定め、記録し把握している</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>2. 支援の計画は定期的見直しの時期と手順を定めている</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3. 個別の支援内容は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して計画的に作成されている</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>4. 計画を保護者にわかりやすく説明している</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>5. 配慮を要する子ども・家庭の支援について、関係機関との連携を図っている</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>6. 配慮を要する子ども・家庭の支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている</td> <td>○</td> </tr> </table>			1. 配慮を要する子どもや保護者の心身状況や生活状況、ニーズ等を、明示する手続きを定め、記録し把握している	○	2. 支援の計画は定期的見直しの時期と手順を定めている	○	3. 個別の支援内容は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して計画的に作成されている	○	4. 計画を保護者にわかりやすく説明している	○	5. 配慮を要する子ども・家庭の支援について、関係機関との連携を図っている	○	6. 配慮を要する子ども・家庭の支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○
1. 配慮を要する子どもや保護者の心身状況や生活状況、ニーズ等を、明示する手続きを定め、記録し把握している	○													
2. 支援の計画は定期的見直しの時期と手順を定めている	○													
3. 個別の支援内容は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して計画的に作成されている	○													
4. 計画を保護者にわかりやすく説明している	○													
5. 配慮を要する子ども・家庭の支援について、関係機関との連携を図っている	○													
6. 配慮を要する子ども・家庭の支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○													
<p>2 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している</p> <table border="1"> <tr> <td>1. 配慮を要する子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している</td> <td>○</td> </tr> </table>			1. 配慮を要する子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○								
1. 配慮を要する子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○													
2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○													
<p>3 配慮を要する子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している</p> <table border="1"> <tr> <td>1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している</td> <td>○</td> </tr> </table>			1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	○	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○								
1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	○													
2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○													
<p><b>【講評】</b>          会議等で、情報共有や検討も行い、必要に応じてケース会議を行い適切な支援につなげていくようにしている。</p> <p>① 配慮が必要な児童や児童館側が気になる児童については、個別ファイルに情報や相談記録をストックし、継続して丁寧に関わっています。</p> <p>② 学校その他機関とも連携し、得た情報については個別記録し、ファイリングしています。</p> <p>③ 子どもの周囲の環境変化には敏感にキャッチし、日々の関りと共に記録して、職員間で支援に活かすようにしています。</p>														
<p><b>5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重</b></p>														
<p>1 子どものプライバシー保護を徹底している</p> <table border="1"> <tr> <td>1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている</td> <td>○</td> </tr> </table>			1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	○								
1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○													
2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	○													
<p>2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している</p> <table border="1"> <tr> <td>1. 日常活動の中で子ども一人ひとりを尊重している</td> <td>○</td> </tr> </table>			1. 日常活動の中で子ども一人ひとりを尊重している	○										
1. 日常活動の中で子ども一人ひとりを尊重している	○													

	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	○
	3. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	○
	4. 子どもの権利擁護のための規定が定められ、公表されている	○
	【講評】 児童館の利用者や家族のプライバシー保護について、適切な配慮をしています。	
① 完全に独立した職員室であり、情報の保護・管理上望ましい環境で、鍵のかかるところに厳重に保管されています。		
② 「福祉分野における個人情報保護に関するガイドライン」（厚生労働省）に基づいて、利用者の個人情報を適切に運用しています。		
③ 個人情報の保護については、守秘義務に関する誓約書を提出し、実習生やボランティア受け入れ時にも順守事項の説明を行っています。		
6 事業所業務の標準化		
1	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	
	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○
	2. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○
2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	
	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○
	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○
	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○
3	さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	
	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○
	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○
	3. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○
	4. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○
【講評】 人材育成を視野にいて、館の業務の標準化に取り組んでいます。		
① 館長は、職員が他館に異動しても全ての児童館事業に精通している職員を育成するように心がけています。そのため、館の事業もどの職員が担当してもできるように意識して担当分掌をしています。		
② 法人共通の利用者共通アンケートを実施しています。ここに記載された事項を集計、分析して結果を次年度の事業計画の策定に反映させる仕組みがあります。		
③ 法人で共通の人事考課表を策定しています。自己評価を記入し、館長ヒアリングを行うことで、各職員の振り返りと指導の機会にしています。		
④ 行事の取組内容は「活動記録誌」がまとめられており、事業の計画・ふり返りに役立てられています。		

## VII. 情報の保護・共有

1 情報の保護・共有に取り組んでいる		
1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		
1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	<input type="radio"/>	
2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/>	
2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		
1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<input type="radio"/>	
2. 個人情報の保護について職員（実習生やボランティアを含む）が理解し行動できるための取り組みを行っている	<input type="radio"/>	
<p><b>【講評】</b></p> <p>個人情報等の重要な情報は、規程を整備して適切に保持・管理しています</p> <p>① コンピュータにはアクセス権限をかけ、万全に情報管理しています。</p> <p>② 必要な情報は職員が共有する仕組みを整え、個人情報のデータはサーバーで整理・保管しています。</p> <p>③ 「個人情報保護規程」「個人情報保護規程に関する事務取扱要領」を整備し、個人情報を適切に管理するとともに、準職員、実習生、ボランティアにも守秘義務を徹底しています。</p>		

## ■特に良い点

ポイント1	全ての児童の健全育成を大切にして、事業が計画的に運営されています。
	<p>学校敷地内にある児童館のため、利用児童のうち児童クラブ在籍児童が多い状況があります。しかしながら、乳幼児親子、自由来館の小学生、中学生・高校生世代などへの働き掛けも積極的であり、地域内すべての子どもに目を向けた支援がなされています。</p> <p>児童館の事業において、中長期計画、短期の計画が読み取ることができ、計画的な運営が遂行されています。</p>
ポイント2	子ども視線を常に意識し、環境・プログラム・個別の配慮等を丁寧に活動しています。
	<p>館長のリーダーシップが機能し、児童館の中が整理整頓されており、利用者が気持ちよく利用できる環境です。特に禁止事項の張り紙は少なく、利用者自身が育つような取り組みが日々細やかにされていることがわかりました。</p> <p>職員室内は新人職員でも業務がしっかり行えるよう、様々なところに、具体的に確認事項が掲示され、リスクマネジメントがしっかりされていました。</p>
ポイント3	地域住民とのつながりが強く、地域から大切にされています。
	<p>地域住民の願いにより開設された児童館だけに、地域の方との結びつきや児童館を大切にされている気持ちを、職員が汲み取りながら日々活動されています。学校と児童館が子どもに関する両輪として地域の中に根づいている関係ができています。</p>

## ■改善が望まれる点

ポイント1	来館を期待していることを、周囲の中学生・高校生世代に向けて、広報することが求められます。
	<p>児童館イコール小学生という意識が強いですが、地域住民の力を借りて中高生世代も利用していいところだと広報していくことが期待されます。幼少時から利用していた児童や、児童クラブ卒業生の児童が中学生・高校生世代になってきたようですので、年長児童の緩やかな居場所として中学生・高校生世代に特化した取り組みの可能性があらわれると思います。</p>
ポイント2	集団が苦手な親子や子どもに児童館を利用してもらうような働きかけが今後期待されます。
	<p>安心して遊べる小学校の敷地内だからこそ、集団が苦手な人にとって敷居がどうしても高くなりがちになります。職員の負担は高くなりますが、地域住民などのボランティアも受け入れながら、入りやすい工夫づくりも含めて、徐々に働きかけをしていくことが期待されています。</p>